

# 東桂小だより

令和2年度

第9号 令和3年 1月25日 発行責任者：校長 志村 雅巳

学校教育具体目標

- ① 進んで学ぶ子ども
- ② 思いやりのある子ども
- ③ 健康でたくましい子ども

**本年もよろしくお祈いします。 いよいよ、3学期が始まりました。**

去る、1/12(火) 令和2年度第3学期が始まりました。今年度は、全校で集会等を実施できる状況ではありませんので、放送による始業式でしたが、その後教室を回ってみると、子ども達の元気そうな顔を見る事ができ安堵しました。

3学期は、1年の締め括りの学期でもあり、次年度に向けた準備の期間でもあります。今年度1年間をしっかりと振り返り、有終の美を飾って欲しいと思います。そして、一人ひとりが次年度に向けた具体的な目標を立てて良いスタートが切れる準備をして欲しいと思います。ご家庭でもご支援をよろしくお祈いします。



**子ども達の著しい成長を感じます。**



初めて小学校に赴任した昨年も感じましたが、小学生は、たった1年間という期間でも著しい成長を遂げると感じます。

学校内を歩いてみるとわかりますが、学年が上がるにつれて教室の様子明らかに違い、上級生になればなるほど落ち着いているのです。また、高学年ともなると中学生の授業の雰囲気と同じようにさえ感じるのです。個人で見ても、校内で久しぶりに見た児童の身長が急に伸びていたり、昨年までは、友人とトラブルを起こすことも多かったのに、それも一切なく様々な場面で活躍したり心身ともに急成長している事を目の当たりにする事が多いです。

当然、第二次性徴期である中学生期も急成長するのですが、中学生のそれとは少し違うように感じています。

今年度本校は、正直に言って2学期中頃までは心配していた学級もあり、保護者の皆様にもご心配をお掛けしておりましたが、少しずつ成長を重ね、今では落ち着いて学習等に取り組めるようになりました。保護者の皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。今後ともよろしくお祈い致します。

**待つ事の大切さ・難しさ！**

私は、長年に渡りバスケットボールの指導に携わってきましたが、その中で感じてきたことがあります。それが「待つ事の大切さ・難しさ」です。また、これは様々な運動、そして学習や人間関係づくり等、子どもを育てていくための指導にも共通して言える事だと思っています。

運動においてファンダメンタル(基礎技術)だけ延々と練習しても技能全体の向上は図れません。そこで指導者は、「継続する練習」「期間に分けて行う練習」等を長期・短期的な目標に合わせて組み立てていきます。この過程でも、早く上達する子どもや中々上達が図れない子どもと様々ですが、上達が図れない子どもに対して指導者(大人)は、すぐにあれこれ口を挟みがちになってしまいます。

しかし、あえて口を出さず、継続や複合した練習を繰り返したりしていると、個人差はあるものの、ある段階で急にステップアップしている事があるのです。つまり、全てにおいてではないですが、時には「意図的に待ってみる・様子を見守る」ことも重要なのです。意図的にという部分が難しいのですが……。

当然、上達が図られなければ、指導者として練習内容や練習方法を見直していかなければならない事は否めません。しかし、練習内容や方法が正しければ必ず成長していきます。それを認め・実感させる事で更なる向上が見込めるのです。逆に、口を挟みすぎると本人は自信をなくし、嫌になり意欲は後退していきます。私たち指導者(大人)に大切な事は、状況を正しく把握し正確な判断をしていく事だと考えます。勝敗も大切ですが、意欲を向上させる事が目標達成(育てること)への近道だと思っています。

**訪問セミナー開催！**

1/21(木)、5~6校時本校体育館において、山梨大学名誉教授を講師にお招きし、感染対策を講じた上で、出前授業を実施しました。未来や先進技術に関するロボット(AI)についての内容で、少し難しかったですが、ロボットが実際に動く様子も見守ることができ、子ども達は真剣に聞いていました。

